

2018年度第7回北陸公法判例研究会開催のお知らせ

初春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、下記の通り今年度第7回研究会を開催いたします。今回は、笹田栄司先生（早稲田大学）が代表を務められる「司法のファンダメンタルズの改革」第8回研究会との共同開催となります。多数のご参加をお待ちいたしております

なお、研究会終了後、懇親会を開催いたします。ご出席いただける方は、3月1日（金）までに山崎にご連絡くださるようお願いいたします。

記

日時： 2019年3月8日（金）13時30分より（今回は金曜日の開催です。ご注意ください）

会場： 石川四高記念文化交流館（金沢市広坂2-2-5）多目的利用室2



1. 林 知更（東京大学）

〔研究報告〕「憲法判例とドグマティック—『連邦憲法裁判所実証主義』論・再訪」（仮題）

〈参考文献〉

- ① Bernhard Schlink, Die Entthronung der Staatsrechtswissenschaft durch die Verfassungsgerichtsbarkeit, in: Der Staat 28, 1989, S. 161ff.
- ② Ders., Laband als Politiker, in: Der Staat 31, 1992, S. 553ff.
- ③ Ders., Abschied von der Dogmatik, in: Juristenzeitung 2007, S. 157ff.

2. 原田 一明（立教大学）

〔研究報告〕「国会運営をめぐる今日の諸課題」

〈参考文献〉

原田一明「わが国の国会運営と二院制」立教法学 99号（2018年）282〔1〕頁以下。